

## 教育センター学びの丘研修員における学びについて

有田川町立吉備中学校

教諭 尾上 隆 哉

和歌山県教育センター学びの丘における研修員としての研究と修養を通して、教育に関する専門的・技術的な事柄について理解を深められるように研鑽を重ねた。その1年間の学びについて述べる。

修養では、様々な研修講座や研修員研修を受講し、多くの知識や経験を得ることができた。特に中堅教諭等資質向上研修では、インシデントプロセス法の実践やワークショップ型事後検討会の進め方について学ぶことができた。ファシリテーターとしてどのように会議を進行し、校内研修等をどのように行えばよいのか、自身の中で具体化でき、学校現場ですぐに生かせるスキルを身に付けることにつながった。

研究では、自身の実践を省察し、ケース会議の在り方を追究した。ケース会議参加者にとって取組の成果が実感でき、前向きな雰囲気での話し合いができる、実施して良かったと思えるケース会議の実施を目指した。ケース会議が、生徒に関わる教職員にとって前向きになれる場として機能し、生徒の思いに寄り添おうとする教職員の気持ちの支えとなることを目指して、今後も実践を続けていきたい。

今後は、1年間の研修員生活で身に付けた学びを生かし、学校が抱える様々な課題についても主体的に考え、同僚と協働することで生徒の成長に寄与したいと考えている。